

三代目理事長に 稲置 慎也氏就任

大学初!リオオリンピック出場
中野 蘭菜さん

平成28年度理事会開催
金沢星稜大学就職状況報告
活躍する同窓生

本年2月に竣工した講義棟「Global Commons」



三代目理事長に 稲置慎也氏就任

三代目新理事長 就任ご挨拶

金沢星稜大学同窓生の皆様方には、日頃から本学の充実・発展にご支援・ご協力をいただき稲置学園理事長として心から感謝申し上げます。

本学は、平成29年に開学50周年を迎えます。この間、建学の精神「誠実にして社会に役立つ人間の育成」のもと、時代に即したさまざまな教育・研究の施策を展開して、社会に貢献する人材を輩出してまいりました。大学を取り巻く環境は、この10年の間に、急激な少子化の進行やグローバル化の進展など、大学を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。大学開学50周年は、100周年に向けた新たなスタートとして、多様化する社会のニーズに迅速かつ柔軟に対応していかなければならないと思っております。

前理事長の稲置美弥子は、新学部設置や学部・学科の改組、校舎の新築など、ソフトとハードの両面においてさまざまな改革・改善を行ってきました。今では、3学部5学科をもつ総合大学に発展しました。

この4月に理事長を拝命してから、微力ながら目の前にある多くの課題解決と、100周年に向けた20年、30年後の将来構想の策定を並行して進めているところであります。さらなる教育の質の向上、グローバル人材の育成、地域貢献を推し進め、本学が石川県そして北陸地域になくてはならない大学となるよう、全力を尽くしてまいりたいと思います。

また、50周年を機に、大学と同窓会、そして地域とのつながりを二層深め、星稜にしかできない時代を先導する人材教育に取り組んでまいります。今後とも同窓生の皆様方のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

理事長就任までの思い出

大学を卒業した昭和58年に、星稜高校の数学科教員として稲置学園に着任しました。それから33年が経ちました。高校の教員は3年間という短い期間ではありましたが、当初からの教員になる夢を実現できたこと、そして生徒との強固な信頼関係を築けたことが、何よりも大きかったと思います。その後、法人本部在職中の平成17年度に10か月間、金沢大学に出席しました。中学生の時からほとんど星稜しか知らなかった私には、新鮮で驚くことばかりでした。また、大学の社会に果たすべき役割を学ぶことができたのも貴重な経験となりました。最後に印象に残ったのが、4年前の稲置学園創立80周年の実行委員長を務めたことです。その頃から、組織のトップリーダーであることを自覚するとともに、稲置学園の将来の姿をじっくり考えることができました。

これらの経験を通して、目標に向かって皆が一丸となつて課題に取り組む大切さを知り、その結果、組織やそこで働く人たちがより強く、大きく、明るく成長する姿を見ることができました。このことを忘れず、星稜の教育を押し進めていくためこれからも努力してまいります。



(上)80周年座談会メンバーと



(左)星稜高校教員時代

大学初！中野蘭菜さんトランポリンで オリンピック出場！ ——日本代表選手に！——



人間科学部スポーツ学科1年次 中野蘭菜さんが、今年4月、ブラジル・リオデジャネイロで行われた「第31回オリンピック競技大会テストイベント（トランポリン）」において、予選得点97.185をマークし、7位で決勝進出（決勝6位）し、女子トランポリン競技の日本代表候補となりました。そして7月には、女子トランポリン競技日本代表選手に決定しました。現役学生のオリンピック出場は、中野さんが大学開学以来初めてとなります。

中野さんは、4歳からトランポリンを始め、星稜高校時代にはユースオリンピック競技大会（平成26年）で銀メダル、世界トランポリン競技選手権大会（平成26年）では日本人最高位の10位となる等の好成績を収めてきました。

最近では、トランポリン競技選手権大会（ワールドカップ）の女子シンクロ競技において、イタリア大会で銀メダル、スイス大会で銅メダルを獲得しています。

7月7日（木）17時より大学稲置記念館2階「星稜フォーラム」にて壮行会が行われ、稲置理事長、宮崎学長をはじめ、友人、後輩、教職員、保護者、県内トランポリン関係者ら150人が激励しました。

金沢星稜大学同窓会からは小嶋会長が激励の言葉と激励金をお贈りしました。最高峰の舞台での、中野さんの活躍が期待されます。



森光佑矢さんが 世界ろう者陸上で 優勝！

人間科学部スポーツ学科3年次 森光佑矢さんが、ブルガリア、スタラ・ザゴラで開催された「第3回世界ろう者陸上競技選手権大会」（6月25日～7月3日開催）に出場しました。中距離1500m日本代表として出場した森光さんは、3分54秒11自己新（日本新）でゴールし、優勝を果たしました。このタイムは森光さん自身の持つ日本ろう記録を5秒09更新した、すばらしいタイムです。

この大会で優勝したことにより、平成29年夏にトルコ・アンカラで行われる、聴覚障害者のためのオリンピックである「デフリンピック」への出場が濃厚になりました。7月7日（木）に行われた報告会では、来年のデフリンピックに向けての抱負等が述べられました。



衆議院議員馳浩氏 文部科学大臣就任を 祝う会が開かれました

平成27年12月13日（日）、金沢市内のホテルにおいて、「衆議院議員馳浩氏 文部科学大臣就任を祝う会」が開かれました。星稜高校第16期卒業生である馳氏を祝いたいと、稲置美弥子理事長（当時）をはじめ、稲置学園同窓会、金沢星稜大学同窓会、実践商業高等学校同窓会、星稜同窓会、星稜高等学校同窓会、学園教職員ら約550名が参加しました。馳氏は積極的に参加者テーブルを回られ、御礼や写真撮影をされていました。訪れたテーブルでは、学生時代や教員時代の思い出話で盛り上がり、熱のこもった政治の話も伺えるなど、終始なごやかな雰囲気包まれた有意義な時間でした。

その時の様子は同窓会HPより見ることが出来ます。是非「金沢星稜大学 kizuna」で検索してご覧ください。



4年連続で90%超の就職率達成。 大手の地元採用枠をほぼ独占。

就職活動の変化が追い風に

昨年度の就職状況も大変好調で、4年連続で90%超えを達成できました。具体的な数値は、全卒業生全体比の「実質就職率」で94.5%、就職希望者全体比の「名目就職率」では98.6%という結果です。バブル期ですら全国平均の内定率は80%超だったことを考慮すると、この数字がいかに驚異的かお分かりいただけるでしょう。

内定先として特筆すべきは、金沢星稜大学として初めてとなる日本銀行です。そのほかにも全労済や農林中央金庫、商工組合中央金庫など、人気が高く、高倍率の企業にも内定者が出ました。それらの企業の採用枠はあっても1人か2人程度という狭き門です。また人気が高い損保・金融業界は、ここ数年、毎年入社実績のある東京海上日動火災保険、



「ごくせん」から後輩たちにアドバイス

三井住友海上火災保険をはじめ、初めて損保ジャパン日本興亜、三井住友信託銀行などの大手企業の地元採用枠をほぼ独占できました。そのほか公務員では、CDP受講者を中心に合格者が過去最高を記録し、初となる石川県庁・富山県庁といった本庁採用者を多数送り出しました。

この好調さは、就職活動への準備が要因です。ここ2年で就職状況は年々変化しており、3年連続で開始時期が変わっています。昨年度は8月スタートの新協定が結ばれ、他校の学生はのんびり構えていたケースも多いそうです。しかし当大学では例年同様に3年生のうちからしつかり準備し、3月の就職情報サイト登録を待たずに、2月中旬にはいち早く企業へアプローチを始め、解禁前の7月末の時点で内定率が75%を超えるなど、圧倒的な強さを見せてくれました。

正のスパイラルを生み出す工夫

この好状況を生み出せたもう一つの理由が、学年間の情報の伝達です。通常就職活動は1年ごとに情報が分断しがちですが、当大学では「正のスパイラル」とでも言うべき好循環を生み出す工夫をしています。一例を挙げると、有名企業に就職したOB・OGを招いたセミナー「ごくせん」（極上の先輩たち）を開催し、現場のリアルな声と就職活動の情報を次世代に伝えてもらっています。

また、進路支援課も、学生らを最大限バック



洋上でのグループディスカッション

アップできるよう、スタッフをできるだけ固定させ、年々変化する就職状況に対応できる十分な情報が蓄積されています。さらに企業から寄せられるさまざまな要望、例えば「こんな人材がほしい」といった声にワンストップで対応していますので、高くご評価をいただいています。それに加えて学生らには1・2年生のうちから就職を強く意識するよう、様々な仕掛けがあります。恒例となった洋上就職合宿クルーズ「ほし☆たび」もその一環で、就職活動を終えた4年生が1・2年生と短大部1年生の参加者とともにフェリーで旅し、グループディスカッションを行うように、将来の就職活動を見えた取り組みを徹底しています。

企業からのご評価、学生たちの努力、当方のサポート、これらが今はずべて好影響を与え合い、好循環が生み出されていると感じています。これからも進路支援課は頑張る学生らを支援してまいります。

金沢星稜大学女子短期大学部教授
進路支援室長 CDA
堀口 英則

金沢星稜大学

主な就職先 ※敬称略

NECソリューションイノベータ、かんば生命、恵寿総合病院、社会保険診療報酬支払基金、商工組合中央金庫、シンコー、全国労働者生活協同組合連合会、損保ジャパン日本興亜、高桑美術印刷、東京海上日動火災保険、日本銀行、日本生命保険相互会社、日本通運、日本郵便、農林中央金庫、福邦銀行、北陸鉄道、三井住友海上火災保険、三井住友信託銀行、名鉄観光サービス、ヤマト運輸、ユニアデックス ※くわしくは大学HPを参照

公務員 ※（）内は人数、実数

国家公務員一般職（専門職）（7）、国家公務員公安職（2）
地方公務員一般職（15）、警察官、消防官（15）、保育士（5）

教員 ※（）内は人数、実数
石川県公立小学校（10）、千葉県公立小学校（8）

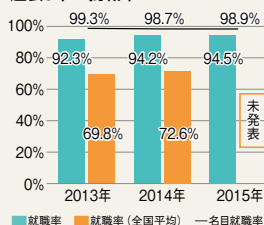
実質就職率
（内定者÷全卒業生）

94.5%

名目就職率
（内定者÷就職希望者）

98.6%

過去3年の就職率



平成28年度 理事会・懇親会が 開催されました

日時 平成28年6月25日(土)
場所 ホテル金沢

理事会では次の議案について 承認されました。

議案

- 1、平成27年度決算報告・事業報告
- 2、平成28年度予算(案)・事業計画(案)
- 3、会則の一部改正について
- 4、役員改選について

報告事項

- 1、学生活動奨励賞について

理事会終了後、懇親会が開催されました。

来賓として、稲置慎也理事長、稲置美弥子前理事長、宮崎正史学長をはじめ主だった先生方が出席され、同窓生と懇親を深められました。途中には、前理事長にこれまでの功績を讃え、同窓会より記念品をお贈りしました。続いて、在学生サークル「ほし☆たま」による南京玉すだれが披露され、同窓生の拍手に包まれました。最後に同窓会委員会の副会長・委員長として、新たに任命された4名による一言スピーチが行われ、今後の活動に対する意気込みを語っていただく等、なごやかな懇親会となりました。



News

全国大会出場

《平成27年度》

硬式テニス部

◆全日本学生テニス選手権大会

女子シングルス 平田 奈葉(人間科学部2年次)
女子ダブルス 堀 綾香(人間科学部2年次)

中川 真菜(人間科学部2年次)

陸上競技部

◆日本学生陸上競技対校選手権大会

川崎 彰悟(人間科学部4年次) 男子1000m
大田 和宏(人間科学部2年次) 男子走高跳
福田 圭佑(人間科学部4年次) 男子走幅跳
清水 奨太(人間科学部2年次) 男子走幅跳
渡邊 凌介(人間科学部3年次) 男子三段跳
大澤 啓太(人間科学部1年次) 男子110mH
鍛冶 有成(人間科学部4年次) 男子棒高跳び
吉田 里穂(人間科学部3年次) 女子5000m
岩田 栞(人間科学部1年次) 女子走高跳

剣道部

◆第34回全日本女子学生剣道優勝大会

女子団体戦

空手道部

◆第59回全日本大学空手道選手権大会

女子団体戦

硬式テニス部

◆全日本学生室内テニス選手権大会

男子シングルス 池原 徹(人間科学部4年次)

News

平成27年度 学生生活活動奨励賞

金沢星稜大学同窓会が、学業・課外活動および社会活動において優れた功績のあった在学生に対してその努力を称え支援金を添えて表彰する「金沢星稜大学同窓会学生生活活動奨励賞」が行われました。

研究学業成績部門

矢本 理紗(学長賞)
三浦 眞実(学長賞)

研究学業部門

卯坂 拓也(優秀賞)
結城 亜可寧(優秀賞)
新谷 美佳(優秀賞)

課外教育活動部門

大田 和宏(学長賞)

陸上競技部の活動で全国トップクラスの成績を残した。平成27年度は日本選手権に初入賞、初の日本代表入り、さらには石川県記録の更新と前年度より多くの成績を見せた。競技意欲も旺盛で、且つ謙虚に取り組んでいる。

スポーツ部門

清水 奨太(優秀賞)

陸上競技部の活動で今季は大きく記録を伸ばし、複数の全国大会で入賞する実績を残した。特に国民体育大会シニアの部での入賞は大きな価値がある。

準硬式野球部(優秀賞)

平成27年5月に長野で開催された「平成27年度春季北信越地区大学準硬式野球大会(本戦)」にて見事優勝し、全国大会への切符を手にした。このことにより、同年8月に開催された「文部科学大臣杯第67回全日本大学準硬式野球選手権大会」に出場し、関西代表の龍谷大学と対戦し善戦したものの0対2の惜敗。負けはしたものの部員全員が各自の役割を自覚し取り組んだ結果、試合の勝ち負けよりも貴重な経験を積むことができ、今後につながる目に見えない財産を得ることが出来た。

活躍する同窓生



ホルミス英(はなぶさ)
中村 英太郎
(経済I・2期)

私が金沢星稜大学の前身である金沢経済大学へ入学したのは、日本が高度経済成長の途上にあった昭和43年でした。建学草創期の二期生として昭和47年3月までお世話になりました。当時は東金沢駅が最寄り駅で本学まで田畑の中の砂利道や川の土手道を歩いて通学したものです。最初は、見ず知らずの人ばかりで緊張していましたが、1ヶ月も経てば車両の中で懇談会が始まるくらいとなり、とても楽しかったことを覚えています。

二年生になり、気の合った者でまだ本学にはないクラブを作ろうということになり、応援部を立ち上げ13名でスタートし、四年時には38名の大部隊となりました。この間、北陸三県や岐阜県などの大会等で積極的に応援活動の実績をあげるとともに、学内では部から学生会長を出すなど充実したクラブ活動の日々でした。こういった団体活動を通して、先生や職員、先輩、後輩、同級生からは思いやりや勇気、自信、行動力を学ばせて、常に自分自身に負けない精神力を学ばせていただいたと感謝の念に堪えません。現在でもこの気持ちを胸に抱き日々の活動に動しんでおります。

昨年、40年以上にわたって勤めてきた繊維問屋の仕事を退職し、新たな人生への挑戦として健康をテーマとした事業を個人商店ながら起業しました。開業9ヶ月になります。が、地域の皆さんの健康を助長するため秋田

県玉川温泉や鳥取県三朝温泉に代表されるラドン(ラジウム)温泉を凝縮したラドンホルミス(ほのかな刺激があるの意。)ルームを設置して、これに付随するラドン寝具やグッズも提供しています。古くて新しい健康への取り組みに対し、連日多くの人々が来店されていますが、今後ともサービスの充実を図るとともに、県内・県外への拡大も模索しており、本学で学んだ教訓を糧に誇りをもつて今後とも頑張りたいと意を新たにしています。



ツエーゲン金沢 アンバサダー
田代 祐平
(経済I・37期)

私の大学生活を思い出すと、とにかくサッカー漬けの4年間でした。当時はサッカー部の部員数も少なく、大学リーグ2部で戦っていました。

そんな中、3年生の時に小松崎現監督が就任され、大学リーグ1部に導いてくださいました。監督の指導のもと、私自身も人間として、そしてサッカー選手として大きく成長できたと思います。プロを意識し始めたものこの頃です。

大学卒業後、地元のチームであるツエーゲン金沢に入団し、プロのサッカー選手として6年間プレーしました。チームを地域リーグからJリーグに昇格させることを目標に、日々努力を重ねました。現役時代にJリーグ昇格は果たせませんでした。引退後はクラブ初のアンバサダーとして、クラブのPRや広報活動を中心に活動しながら、引き続きJリーグを目指してきました。平成25年にJ3、さらに翌年J2に昇格した時の喜びは忘れられません。

現在、ツエーゲン金沢はJ2リーグで奮闘しています。日々の練習や試合だけでなく、地域に愛されるチームとなれるよう、地元のイベ

Topics

学生活動の紹介

ントに選手が出演したり、子供たちを対象にしたサッカー教室を開催したりしています。私自身も、幼稚園や保育園、小学校に出向いて子供達とふれあう機会がたくさんあります。体を動かす楽しさ、力を合わせて何かに取り組むことの大切さが少しでも伝わってほしいと思います。

スポーツをするには、人とのコミュニケーションが必須です。そして人と関わることで、相手を思いやる力を身につけることができます。

将来の石川県を担う子供達にその力をつけてもらえるよう、少しでも役に立てたらと思います。

そして子供達が大人になった時、地元のチーム・ツエーゲン金沢を応援してくれたら、こんなに嬉しいことはありません。

ツエーゲン金沢はまだまだ発展途上のクラブです。地元の皆様と関わり、地域に貢献できるようにこれからも活動を続けていきます。

Saree de Curry (サリーデカレー)

6月15日(水)人文学部の学生と教職員が中心となり、インドや南アジア地域の民族衣装であるサリーを着てインドカレーでランチをするイベントが、大学新講義棟「Global com-



mons」グローバルコンス)で行われました。当初は手食文化に違和感を持っていた学生達もナン・平たいパンの一種だけでなく、ご飯も手で食べるなどとして、異国の文化を体験しつつ昼食を楽しみました。

この様子は、当日夕方の北陸放送「レオスタ」の番組内でも放送されました。

金沢星稜大学人文学部では、教室の中だけでは知り得ない事を体験してもらう事で、先入観や既成概念に縛られず、幅広く世界を見つめ、好奇心を持って世界に挑戦する人材の育成を目指しており、今後も様々なことを企画していきます。

くまもと☆マーケット

人間科学部こども学科、直江学美ゼミナールの学生たち(4年次生)が、熊本県の震災復興支援として学内で募金活動を行い、その募金で熊本の農産物などを仕入れ、学外で販売するプロジェクト「くまもと☆マーケット」を実施しました。

熊本県東京事務所、JRR西日本金沢支社などの協力を得て開催した第1回目のくまもと☆マーケット(6月17日(金)、18日(土))では、たくさんのお客様にご協力いただきました。今回の売上金は次回の農産物等の仕入れに使うことで、短期的な金銭支援に留まらず、長期的、継続的な視野に立った循環型支援を行うこと、この企画を通して金沢市民に熊本への関心を持ってもらうことを目的としています。次回は10月29日(土)に開催します。詳細が決まり次第、大学同窓会HPにてご案内いたしますので、同窓生の方にも是非ご協力をお願いいたします。



平成27年度 在校生支援基金の協力者名簿

皆さまからのご協力ありがとうございます

19期	18期	17期	16期	15期	14期	13期	12期		11期	10期	9期	8期	7期	6期		4期		3期	2期		1期	【経済学部1部】								
端杉	宮武木	山橋軽石	益津木河	宮	西上	小	忠	大大	若吉金	宮	松寿作	堀棒沢	瀬	松吉木北	若米高崎	小上有	藤杉杉石	森室三中	安藤											
保原	浦田谷	中	海黒	谷田村上	本	野田	山	村	野野	久保	松田木	腰	浦時中	田海	戸	嶋田村村	林崎城田嶋	野田	田原森川	山好田										
一	慎義	正昌和哲	秀佳道孝	康	伸智	征	健	千雅	茂	清		美正	和正	義	美晴洋	啓恵康正一	雅	秀千幸栄	俊研邦											
聡誠	淳一徳	英和義康	幸之明一	之	一義	時	司	恵隆彦	夫登隆	毅	勉昭喜	彦二仁	孝	茂紀夫人	一三光則夫	司隆	俊秋子一	寿洋一雄	至											
			1期	39期	33期	32期	25期	17期	14期	8期	7期	4期	1期	【経済学部2部】	45期	39期	36期	34期	33期	30期	29期	28期	27期	25期	23期	22期	20期			
		匿名	河崎健一	石田	宮島	小	園	根	高	富	大	山	木	加	小石	田	小	中澤	伊	割	林高	廿中佐	林	島佐々	水	武				
		16件	ワカミヤヒトシ	田	西	舟	部	井	沢	沢	崎	戸	信	藤	釜本	中	谷	尾	藤	山	修	孝	恵	日村藤	岩泰重	康	宏	木	野	田
				行	夫修	生	浩	一	弘	信	一	雄	勝	一	之樹	貴	俊	紀臣	二	司	美誠	均之樹	範	和仁	満	彦				

在校生支援金 (1口)

2,000円

(1口以上何口でも可)

在校生支援基金の成果
今年度も私たちの後輩のスポーツ・文化面での活躍を応援するため、平成27年度金沢星稜大学同窓会学生活動奨励賞を贈りました。
引き続き、在校生への物心両面からのサポートを行っていきたいと思いますので、これまでと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

在校生支援基金のお願い
平成27年度在校生支援基金は多くの皆様の温かいご支援のもと、101件、353,000円のご寄付を頂きました。大変ありがとうございます。在校生支援基金は、在校生の皆様のスポーツ文化、社会活動、留学生交流などにますますの活躍を期待し、物心両面から強固な支援をすることを目的としています。
つきましては、平成28年度におきましても、昨年同様、在校生支援基金に同窓会会員の皆様のご賛同、ご協力をいただきたくお願いする次第です。

平成28年度「市民土曜講座」がスタート

金沢星稜大学では地域に開かれた大学として、教育と研究の成果を地域社会に還元するために公開講座等を通して地域の皆様に対し、広く学びの場を提供しています。

その活動の一つが「市民土曜講座」で、年間を通して本学教員が身近な事例や最新の情報などを取り上げてお話しします。

- 期間：平成28年5月21日(土)～平成29年1月28日(土)
- 時間：10:30～12:00 日程により開始時間が異なる場合があります。
[入場無料] [申込不要] ※希望する講座を自由に受講ください。
- 会場：金沢星稜大学 キャリアデザイン館1階 C11教室(多目的階段教室)
- 主催：金沢星稜大学総合研究所
- 日程

9月17日(土)	平和について考える絵本と紙芝居の世界	講師：馬場 治 教授
10月8日(土)	映像と言葉で創るフォトポエムで心のアンテナを鍛えよう	講師：佐藤 幸江 教授
10月15日(土)	沖縄における「アメリカ」：基地、文化、地域活性化	講師：ロバーソンジェームス教授
11月5日(土)	英語の学び方を変える。身体と思考と	講師：川村 義治 教授
11月6日(日)	17-8世紀の東西文化交流	講師：枝村 祥平 准教授
11月19日(土)	最近の心理学的研究における時間感覚に関する仏教学者の見解	講師：バイヤーアヒム准教授
11月26日(土)	石川県におけるユニバーサル・ツーリズムの推進	講師：捧 富雄 特任教授
12月10日(土)	ヒンドゥー教徒の死生観	講師：小磯 千尋 准教授
1月28日(土)	水に親しみ健康家族	講師：奥田 鉄人 教授

※11月5日(土)、11月6日(日) 流星祭期間12:00から開催／11月19日(土) 大学50周年記念事業・ホームカミングデーに合わせて13:00から開催

……………富山県支部活動報告と講演会等のお知らせ……………

第4回大学OB対抗レガッタin世界遺産五箇山に参加

第4回大学OB対抗レガッタin世界遺産五箇山が平成28年6月26日(日)富山県南砺市桂湖にて行われ、日本体育大学OB・日本大学OB・龍谷大学OBなどが出場しました。レガッタとは、複数人数によるボート競技のことで、今大会は5人1チームのナックルフォアと呼ばれる大会になります。わが金沢星稜大学OBチームは6位と健闘しました。



平成28年度 富山県支部役員会 及び 定期総会

富山県支部では6月25日(土)「ホテル金沢」(金沢市)にて、平成28年度役員会を行い、本年度総会の日程・講演会・懇親会の日程等について協議しました。平成28年度富山県支部定期総会は7月24日(日)「来光」(富山県射水市)で行われ、事業報告・会計報告・会計監査報告・事業計画(案)予算(案)が全て原案どおり承認されました。



富山県支部役員会 及び 馳文部科学大臣就任祝賀会

富山県支部では平成27年12月13日(日)「ホテル金沢」(金沢市)にて役員会を行い、平成28年度の講演会の講師選定・日程等について協議しました。役員会終了後、稲置学園同窓会主催「衆議院議員馳浩氏文部科学大臣就任を祝う会」に出席しました。祝賀会も盛大に行われました。(同・ホテル金沢)



平成27年度富山県支部講演会・懇親会

富山県支部は平成31年に発足20歳を迎えます。この20周年に向かって毎年講演会を実施することといたしました。平成27年度は、11月3日(火・文化の日)に、「ウイング・ウイング高岡」(高岡市)にて、元・星稜高校野球部監督の山下智茂稲置学園理事(現・稲置学園顧問)をお招きし「耐えて勝つ！」の題目でご講演いただきました。講演会終了後、「Casual Dining BON」にて山下理事を囲み、懇親会を行いました。



平成28年度 富山県支部講演会・懇親会のお知らせ

富山県支部20周年へ向け講演会・懇親会を行います。平成28年11月6日(日)富山県射水市「松原屋」(あいの風とやま鉄道小杉駅前)にて、午後4時から講演会を、講演会終了予定の午後5時30分から懇親会を行います。今年の講師は金沢星稜大学女子短期大学部・教授で、進路支援室長の堀口英則氏です。多数のご出席をお待ちしております。

連絡先 支部長 新原(電話090-7089-6607)まで

第30回金沢星稜大学同窓会ゴルフコンペ開催!

平成28年7月16日(土)にゴルフクラブツインフィールズに於いて、30回目となるゴルフコンペが開催されました。当日は、経済学部一部・二部、人間科学部の同窓生総勢18名(一部11名、二部3名、人間科学部4名)が参加しました。最年長者70歳、最年少者28歳と年代の垣根を超えて、ゴルフを通じて交流を深めました。

プレー後は、表彰式を兼ねた懇親会が行われ、お互いの近況報告等を行いながら、和気あいあいとした中で終了しました。なお、成績については、下記のとおりです。

順位	氏名	学部・期	GROSS	HDCP	NET
優勝	喜田 英一	二部16期	89	19.2	69.8
準優勝	川本 一義	二部 2期	87	16.8	70.2
第3位	米沢 攻修	一部 6期	95	21.6	73.4



ゴルフを通して、同窓生のきずなを少しでも広げていきたいと考えておりますので、多数の方の参加をお待ちしております。不明な点等がございましたら事務局までお問い合わせください。

【事務局】経済学部一部27期
廿日者 均(ハツカイワ ヒトシ)携帯:090-8703-0900